

三菱電機株式会社 名古屋製作所・産業メカトロニクス製作所 本館



外観

「三菱電機株式会社 名古屋製作所・産業メカトロニクス製作所」は、生産ラインの自動化・省力化を担うFA事業の中核製作所。このたび、職場の環境改善、活性化を目的とし本館のトイレ改修が実施された。



2F 男女共用トイレ

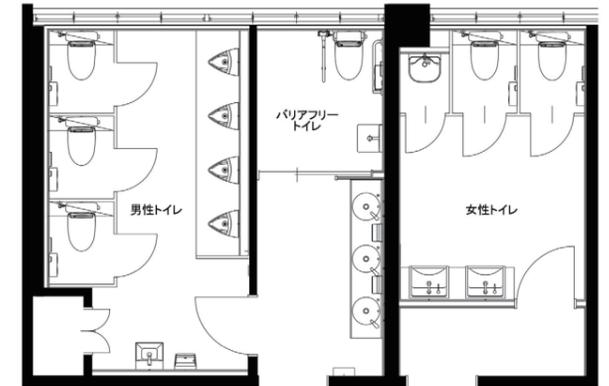
2Fに設置した男女共用トイレ。来賓の方が利用することも想定し、優雅なウェーブラインで空間を上質に彩るウォシュレット一体形便器ネオレストLSを採用している。



2F 男性トイレ

男女共用トイレとは別に、男性トイレを配置。小便器には、さまざまな利用者に配慮して手すり設置され、さらに、足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを採用している。

基準階トイレ図面



水まわりの特長

改修の経緯

「三菱電機株式会社 名古屋製作所・産業メカトロニクス製作所」は、1924(大正13)年に三菱電機の汎用電動機の量産工場として設立。生産ラインの自動化・省力化を担うFA事業の中核製作所として、常に時代の最先端を走り続け、現在はシーケンサのコントローラ機器やサーボモーターロボットの駆動・制御機器などのメカトロニクス製品を製作、国内外においてトップクラスのシェアを占めている。このたび、職場の環境改善、活性化を目的とし本館のトイレ改修を実施。改修を機にバリアフリートイレを新設した。当初の計画では少し狭かったため、TOTOテクニカルセンター名古屋のバリアフリーラボにて、空間検証を実施。手前通路の洗面コーナーの寸法を調整し、車いす使用者が安心して使える広さを確保している。

トイレの特長

基準階トイレの大便器は、タンク式と同じ給水口径15A配管で、フラッシュバルブ式と同様の連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。さらに、使い方がわかりやすいウォシュレットのリモコンは、ボタンを押すたびに発電し、乾電池や電源工事が不要なエコリモコンを採用している。男性トイレの小便器には、自己発電タイプを選定。停電時も使用することが可能となっている。また、男女とも大便器アースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、安心して使えるようにプライバシーに配慮。防犯対策とともに、快適性にも工夫がなされている。さらに、大便器後方の壁に棚を設置するなど、ブース内の荷物配慮もなされている。

建築概要

名称	三菱電機株式会社 名古屋製作所・産業メカトロニクス製作所 本館
所在地	愛知県名古屋市東区矢田南5-1-14
施主	三菱電機株式会社
設計・施工	三菱テクニカ株式会社
竣工年月	(改修)2022年7月
敷地面積	306,000㎡
建築面積	1,453.58㎡
延床面積	4,332.15㎡
構造・階数	鉄骨造・地上3階
おもなTOTO使用機器	ウォシュレット一体形便器ネオレストLS:CES9820 パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BC ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU、TCF5534AUY 棚付二連紙巻器:YH702、YH63BKM/自動洗浄小便器:UFS900WR ハイドロセラフロアPU:AB690系/壁掛ハイバック洗面器:LSH125AN マープライトカウンター(ボウラー一体タイプ):MC45/洗面器:LS722CM、L350C 自動水栓一体型電気温水器:REAH03B1RS28SK 水石けん入れ:TLK05202J/電気温水器:REWF03B1ISM パブリック用手すり:T112CL10、T112CL11、T112CU22、T112HK7R 背もたれ:EWC283CR/ペーパータオルホルダー:YKT300MN チャームボックス:YKB103



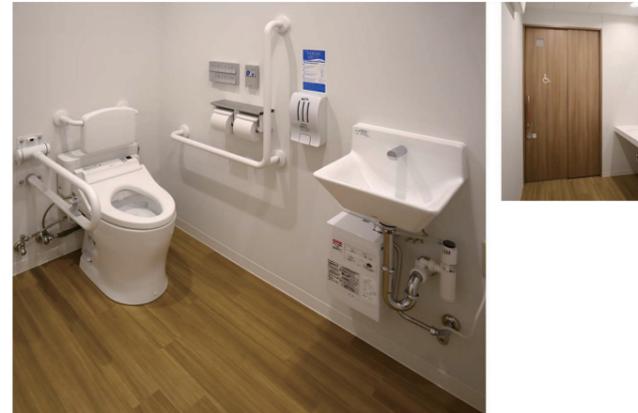
基準階トイレ入口

男性トイレとバリアフリートイレの入口は共通になっているが、男性トイレは扉で仕切られているため、女性の車いす使用者でもバリアフリートイレを兼ねねせず使うことができる。



基準階 洗面コーナー

男性トイレとバリアフリートイレの入口に面した通路に設けられた洗面コーナー。衛生面に配慮し、非接触で使用できる自動水栓と電気温水器を設置し、冬場もしっかり手洗いできる。ペーパーとゴミ箱も用意されている。



基準階バリアフリートイレ

車いす使用者が利用できるよう、今回の改修でバリアフリートイレを新設。広々としたスペースを確保し、洗面器には電気温水器も設置するなど、快適に利用できるよう配慮されている。



基準階 男性トイレ小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した、自動洗浄小便器を選定。自己発電タイプであり、停電時も使用することが可能となっている。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置。



基準階 女性トイレ洗面コーナー

手洗い時の手の位置が、カウンター面より低くなることで水はねしにくい洗面器を採用。また、洗面前には隣の人の視線が気にならない個別鏡を設置し、さらに、姿見で全身の身だしなみを整えることができる。



基準階 女性トイレ大便器コーナー

男女トイレともに、ブース内の荷物配慮として、大便器後方に棚を設置。またプライバシー配慮と防犯対策として、ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げている。